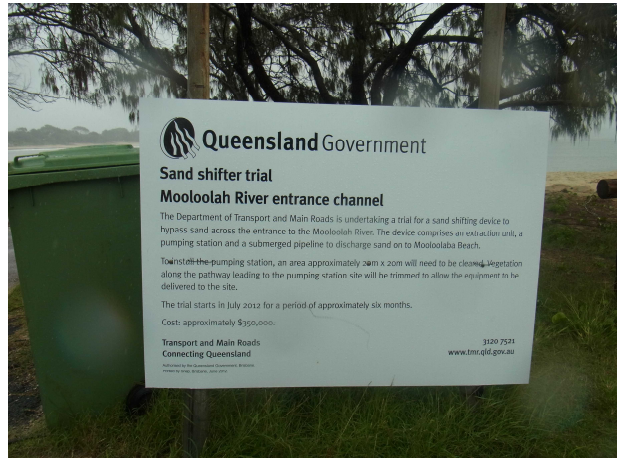


5-5-2 砂採取口付近

- ・ 砂排出口付近及び利用状況を調査した。
- ・ Mooloolaba River の河口付近には、ポンプ浚渫船が係留されており、そこから砂を採取し、パイプラインを通して 2km 程度先に排出するものだった。
- ・ 調査当時、ポンプ浚渫船は稼働しておらず、船本体とパイプラインは切り離されていた。



- ・ 砂採取地点付近に、Queensland Government office があつた。
- ・ ここには「平成 24 年 7 月から約 6 か月間で約 350,000 ドル (35,000,000 円、1 豪ドル=100 円)、Sandshifter の試験が行われたこと」を記した看板があつた。
- ・ その他看板には、「Mooloolah 川河口部にて、運輸省と Main Roads は、Mooloolah 川へ流入する砂を回避するために、砂移動装置の試験工事を行っている。当該装置は、Mooloolaba Beach に排砂するために、吸砂装置、ポンプ場と水中パイプラインから成る。ポンプ場を設置するために、ポンプ場サイトへの通路に沿って植生帯があり、試験用器材を入れるために 20m * 20m の区域が必要となる。」と記してあつた。



5-6 Sufers Paradise Beach (Gold Coast 内) 13 日午後

- ・ 平成 19 年 4 月以来、6 年ぶりに Gold Coast の地を踏むことができた。
- ・ 早速、当地で最も有名な Sufers Paradise Beach に行ったところ衝撃を受けるでき事があつた。
- ・ それは、砂浜の幅が数割程度減っており、陸側には 3m 程度の浜崖が一带にできていた。
- ・ この浜崖は、見渡せる限り全てに発生しており、深刻な問題であることは我々にも分かった。
- ・ 松原教授が Gold Coast Council のライフセーバーに声をかけて意見交換が行われた。
- ・ そのライフセーバー曰く、「今年 (去年?) の嵐 (storm) によって一気に砂が海に持って行かれた。過去 50 年で最も酷い状況になっている。Gold Coast は観光で成り立っている都市なので、大変深刻な問題に直面している。背後地と接する地点の砂地盤高が 3m 程度下がった。」ということだった。
- ・ ちなみに、Gold Coast の砂の粒径も 0.14mm 程度と細砂であり、堆積している勾配が非常に緩やかなため、背後地と接する地点の砂浜の地盤高が 3m 程度下がったということは、汀線までの前浜がどの程度縮小したか容易に想像できる。
- ・ それにしても、嵐によって沿岸方向に数 km~数十 km (もしかすると百 km?) もの区間で一気に侵食が生じたというのは、相当な高波浪だったに違いない。
- ・ その後も、松原教授からライフセーバーへの意見交換は続き、沿岸部の砂消失と砂供給量減少との

関係については、十分な調査・分析が進んでいないということであった。

- ・残念なことに、2日目は終日あいにくの天候（雨）だったので、現地調査を十分に実施できなかった。日本でいう秋雨前線のような雲に覆われ時々激しい雨となった。



5-7 Zagame' s Paradise Resort (2日目宿泊のホテル名) @

・住所は 122 Ferny Avenue Sufers Paradise, Qld 4217

5-8 Broad beach (Gold Coast 内) 14日午前(前)

- ・最終日(3日目)は天気が回復し、午前7時頃(現地時間 06:30 にホテル出発)には快晴となった。
- ・Sufers Paradise Beachと同様に高さ3m程度の浜崖が見られ、一体的に著しく侵食されていた。
- ・現地の地表状況から、最近このような状況になった形跡がある。

